

第3回策定委員会 議事要旨

主な意見	対応の方向性（事務局回答等）
住民意向調査について	
<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代等の次世代を担う方々の思いを計画に反映していただきたい。 	（意見として扱う。）
<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代の方々には、市の現状の課題にとらわれるだけでなく、今後市として進める計画等も知ってもらいたい。また、地域として、今後のまちづくりについて情報共有を行うといった支援が出来ればと考えている。 	（意見として扱う。）
全体構想について	
<ul style="list-style-type: none"> ・都市のイメージとして提案いただいた「～人と自然にやさしい環境共生都市上野原「都市環境と自然環境の共生」～」は、市の今後の姿を表す言葉として適切だと思う。 ・これをまちづくりのキャッチコピーとしてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・上野原市のまちづくりの上位計画である総合計画では、将来像として「夢と希望あふれる快適発信都市」をうたっている。 ・そのため、現状としてキャッチコピーを変えるのは難しい。ただし、まちづくりの方針として展開することは可能である。
<ul style="list-style-type: none"> ・目標として提案いただいた「豊かな環境の中で、健やかに暮らせるまちづくり」の豊かな環境とは自然環境と都市環境どちらを指すのか。 ・環境だけでは曖昧なため、明確にすべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな環境は、自然環境と都市環境の両方を包含するものとして提案している。 ・市の現況を踏まえると、課題はあるものの自然環境が豊かであることはご理解いただけると思う。 ・都市環境については、駅周辺の整備や幹線道路整備等の計画が位置づけられるため、それが実現化することで、豊かな環境を達成するものと考えている。
<ul style="list-style-type: none"> ・都市環境という観点について、上野原市は、中央自動車道や JR 中央本線があるなど交通の便が良い土地である。 	（意見として扱う。）
<ul style="list-style-type: none"> ・国道 20 号バイパスの検討経緯や現状の進捗を教えて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国道 20 号バイパスは、過去構想や協議会にて検討が行われた。しかし、現在動きはない（具体的な路線・整備時期は未確定）。 ・東日本大震災以降、国交省等で災害救援物資の輸送路としてのあり方について検討がはじめられているようである。
<ul style="list-style-type: none"> ・遊休農地の活用として、市が間に入って貸し付けるといった方法が考えられる。具体的な事例として、農業法人上野原ゆうきの輪がある。 	（意見として扱う。）
<ul style="list-style-type: none"> ・中山間地の遊休地の活性化にあたっては、害獣対策を位置づけていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・土地利用の項目に位置づけることを念頭に検討する。
<ul style="list-style-type: none"> ・日本全体は、人口減少社会を迎えたが、世界全体でみると人口増加の傾向にある。市の継続的な繁栄を考えた場合、外国人の受け入れも検討する必要があるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人口問題研究所公表の上野原市の人口推計では、漸減となっている。人口減となった中でも地域として自立するための方策として「小さな拠点」整備を提案している。
地域別構想の考え方（地域別構想の骨子）について	
<ul style="list-style-type: none"> ・各地区の位置づけや整理にあたっては、県の上位計画（区域マス）との整合を図っていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点エリアの位置づけや記載内容について、統一を図る。
その他	
<ul style="list-style-type: none"> ・次回委員会について、開催日が決まり次第、周知いただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現地視察先との調整の上、日程が決まり次第、周知します。